



令和5年度 進路室便り 第7号

～3年生 三者面談資料として～

保護者の皆様へ

本日はご多用のところご来校ありがとうございます。早いもので本年も残りわずかとなりました。

今回の面談では、安全校を含めた受験校の絞り込みについての話し合いがメインになるかと思います。少ない時間ではありますが、有意義な時間となりますよう、願っております。

3年生の保護者の皆様へ

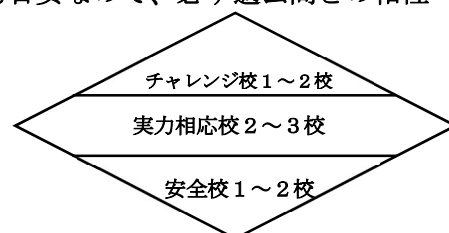
すでに総合型選抜・学校推薦型選抜等で進路が決定した生徒もいますが、これから本番という生徒もたくさんいます。今年度の共通テスト出願者数は187名です。本番まで残り1カ月、共通テスト受験者には、最後の最後まであきらめずに、食欲な姿勢で勉強に取り組んでもらいたいものです。

さて、これから一般選抜の入試を控えている皆さんは今回の三者面談を受けて、受験校の絞り込みを行うことになるかと思いますが、ここで留意点を2点に絞って紹介してみたいと思います。

① ダイヤモンド型受験が合格の鍵

受験校数はチャレンジ校1～2校、実力相応校2～3校、安全校1～2校、計4～6校を目安としたダイヤモンド型受験が理想的といわれています。ただし判定はあくまでも目安なので、必ず過去問との相性を確かめて出願しましょう。

チャレンジ校	あこがれの大学 模試判定D～E
実力相応校	自分の成績から見て妥当な大学 模試判定B～C
安全校	過去受験したほとんどの模試でA判定の大学



また、安全校は共通テスト利用入試を少なくとも1校入れることをお勧めします。理由は、共通テストを終えた時点で合格の見込みのある大学があると、本命の受験に集中できるからです。また、一般受験しか出願していない状況で新型コロナウイルスやインフルエンザに感染してしまうと、出願した大学の多くを受験することができなくなる恐れがあります。これはあくまでも滑り止めにあたるので、予想されるボーダーラインと判定に余裕をもって出願を検討してみてください。



② 受験スケジュールを立てる

本番の入試では、緊張した状態が長時間続くため予想以上に体力を使います。連続受験はできるだけ避け、どうしても志望校の試験日が続いてしまう場合でも最大「3日」までに留めましょう。また、「初めて」の入試では誰でも緊張し実力を発揮できないことがあるので、入試難易度が「右肩上がり」になるよう、「安全校→実力相応校→チャレンジ校」の順に受験できるようにスケジュールを立てましょう。私大の合格発表日と第一次手続き締切日の関係にも注意が必要です。合格した場合、第一次手続き締切日までに入学金を納めなければ入学資格を失います。多くの場合、入学金(20～30万円)は入学辞退しても返金されません。志望順位の低い大学の手続き締切日が、志望順位の高い大学の合格発表日より前の場合、余分な入学金を納めることになります。無駄な出費が抑えられる日程を作成しましょう。

	2/1	2/5	2/6	2/10	2/11	2/15
A大学(抑え)	試験日		発表日	手続き締切日		
B大学(本命)		試験日			発表日	手続き締切日

*このような場合、B大学の方が志望順位が高くてもA大学にも入学金を支払わなければなりません。

「先輩」保護者からのアドバイス 保護者が受験に向きあう時

保護者の方は、受験を控えたお子さまの環境をできるだけよいものにしたいと思っていられることでしょう。そこで、以前にお子さまの受験を経験された保護者の方の「受験生への接し方」をご紹介します。

食事を通して親子のコミュニケーションを図りました。

A.Oさん

息子は12月の初めに夜型から朝型に切り替えました。私も息子が生活のペースをつかみやすいように、毎日の食事を決まった時間に作っていました。私が息子の受験のために特別にしてあげたことは、食事作りくらいですね。受験が迫ってくると、風邪をひかないように栄養価の高いものを作を考えながら作っていました。そのせいか受験も順調だったようです。息子も「僕が合格できたのもお母さんのご飯のお陰だな」と言ってくれました。食事のことでよかったと思うのは、それにより息子とのコミュニケーションが図れたことです。受験勉強が忙しくなってくると子どもと話をする時間は少なくなってしまうので、食事時には努めて話をするようにしましたが、お互いに考えていることがわかり合えたとし、息子も会話することでよい息抜きになっていたようです。

子供がやりたいように見守ってあげました。

S.Iさん

すべて本人のペースに任せることにしていました。親は心配してつい口を出したくなりますが、じっとこらえるようにしたのです。こうした親の態度が子どもに合ったのか、成績は常に安定していました。年が明けてからも家庭環境を少しでもいい方に保つこと、いつも優しいまなざしで接することを心がけていました。でも受験が近づいてくると、子どもはなぜか携帯電話で友達と電話ばかり。私も気になって、つい「それでいいの?」と言ってしまいましたが、本人にとってはそれが最大の息抜きになっていたようでした。電話をしていないときは、頭を切り替えてじっと机に向かっていたから。結果的には、それが一番よかったみたいですね。受験は本人の頑張りにかかっていますが、親は信頼して見守ってあげることが何よりも大事だと思います。

模試・大学入学共通テスト・大学入試結果等の情報提供のお願い

保護者の皆様および生徒の皆さんに大学受験等にあたって次のお願いがあります。今までに進路選択の様々な場面で、多くの先輩から提供された情報の恩恵を受けてきました。趣旨をよく理解していただき、ぜひ協力をお願いしていただきたいと思います。

(1) お願い

大学入試等に関する情報（受験大学・受験方式・合否結果・進学結果、その他これらに関する情報）を校内で集約し、進路の手引きのデータとして利用すること、及び、ベネッセ・河合塾等に提供することをご承諾ください。

(2) 目的

これらの情報は、校内資料として保管・利用する他、ベネッセ・河合塾等において来年度以降の偏差値算出、志望校合格判定、大学入試等に関する調査、その他これらに関する統計処理の基礎資料とし、これらを本校の後輩の進路指導に利用します。

なお本校及び提供先において、これら以外の目的には利用しないものとし、その情報を第三者に開示・提供することは一切ありません。掲載されるのは統計処理後のデータのみであり、個人名等の情報は表示されません。また、校内で集約した上記の情報を外部に報告または提供する際には、個人を特定できる情報を削除して受け渡しを行う等、情報の取り扱いに関しては最大限の配慮を行っています。

これからの後輩の進路指導のためにも、情報提供の協力をお願いいたします。上記の「お願い」に承諾できない場合には、担任もしくは進路指導部（奥山）に申し出てください。